



## 2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年10月19日

上場会社名 エイトレッド  
コード番号 3969 URL <https://www.atled.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 康広  
問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 新 祐介  
四半期報告書提出予定日 2023年10月31日 配当支払開始予定日 2023年12月4日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03 - 3486 - 6312

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	1,172	11.0	483	3.4	483	3.4	324	4.4
2023年3月期第2四半期	1,056	2.7	467	0.2	467	0.2	311	1.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	43.38	
2023年3月期第2四半期	41.59	41.57

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	5,331	4,302	79.9	569.18
2023年3月期	5,026	4,059	80.1	537.79

(参考)自己資本 2024年3月期第2四半期 4,261百万円 2023年3月期 4,026百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		12.00		12.00	24.00
2024年3月期		13.00			
2024年3月期(予想)				13.00	26.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,390	10.3	1,100	10.1	1,100	10.0	748	11.6	99.90

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	7,487,400 株	2023年3月期	7,487,400 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	185 株	2023年3月期	185 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	7,487,215 株	2023年3月期2Q	7,483,151 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3の「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期貸借対照表	P. 4
(2) 四半期損益計算書	P. 5
第2四半期累計期間	P. 5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	P. 6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(セグメント情報等)	P. 7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、各種政策の効果等により緩やかな景気の回復が続くことが期待されるものの、地政学的リスクの高まりや物価上昇、供給面での制約、世界的な金融引締め等を背景とした海外景気の下振れ等の懸念により、先行きは依然として不透明な状況が継続しております。

当社が属するIT業界は、ソフトウェア投資が緩やかに増加しており、企業収益の改善等を背景に、今後もITへの投資は堅調に推移することが期待されます。また、少子高齢化や労働人口の減少等を背景に、労働生産性の向上が課題となっており、既存システムの刷新やデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進によるIT投資需要の高まりを受け、当社が展開するワークフローソフトウェアについても需要が拡大し堅調に推移いたしました。

このような状況の中で、当社はワークフローソフトウェアメーカーとして、Webを活用したセミナーの開催及び全国主要都市でのパートナー企業との共同セミナーの開催、市場優位性を確保するための製品・サービスの機能強化、並びに急速に拡大するクラウドサービス市場のシェア獲得に向けたクラウドビジネスの拡大に注力してまいりました。また、2023年8月に、AgileWorksのバージョンR3.0をリリースし、「意思決定を迅速にし、データを経営に活かせる、統合ワークフロープラットフォーム」へと機能や利便性を大幅に刷新いたしました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は11億72百万円(前年同四半期比11.0%増)、営業利益は4億83百万円(同3.4%増)、経常利益は4億83百万円(同3.4%増)、四半期純利益は3億24百万円(同4.4%増)となりました。

なお、当社の事業はワークフロー事業の単一セグメントのため、製品・サービス別の業績の概要を記載しております。

#### (パッケージソフト)

Xpointは、クラウドサービスへシフトしたこと等により売上高が減少いたしました。AgileWorksは、第1四半期に発生したR3.0へのメジャーバージョンアップによる買い控えが解消され、新規導入企業数が順調に増加したこと等により売上高が増加いたしました。その結果、当第2四半期累計期間のXpoint売上高は1億47百万円(同9.9%減)、AgileWorks売上高は5億19百万円(同8.8%増)となり、パッケージソフト全体の売上高は、6億67百万円(同4.0%増)となりました。

#### (クラウドサービス)

クラウドサービスは、クラウドサービス市場の成長及びDXの推進に伴うワークフロー需要の拡大を背景として、Webを活用したセミナー、無料トライアルの実施等により、新規導入企業数が順調に推移しました。また、パッケージソフトのXpointからのシフトも徐々に増加いたしました。その結果、当第2四半期累計期間のクラウドサービス売上高は、5億5百万円(同21.8%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産・負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期会計期間末の資産合計は53億31百万円となり、前事業年度末に比べ3億4百万円の増加となりました。これは、主に現金及び預金が2億2百万円、ソフトウェア仮勘定が81百万円増加したこと等によるものであります。

## (負債)

当第2四半期会計期間末の負債合計は10億29百万円となり、前事業年度末に比べ62百万円の増加となりました。これは、主に買掛金が16百万円、契約負債が23百万円増加したこと等によるものであります。

## (純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産合計は43億2百万円となり、前事業年度末に比べ2億42百万円の増加となりました。これは、主に利益剰余金が2億34百万円増加したことによるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比較して2億2百万円増加し、42億72百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、5億13百万円（前年同四半期は3億24百万円の獲得）となりました。これは、主に法人税等の支払が1億60百万円あったものの、税引前四半期純利益が4億83百万円、減価償却費が1億31百万円あったこと等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、2億20百万円（前年同四半期は1億72百万円の使用）となりました。これは、主に無形固定資産の取得による支出が2億18百万円あったこと等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、89百万円（前年同四半期は81百万円の使用）となりました。これは、配当金の支払が89百万円あったことによるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績は、計画どおりに推移しております。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,069,391	4,272,383
売掛金	224,271	239,788
電子記録債権	51,361	55,009
その他	37,962	30,866
流動資産合計	4,382,987	4,598,048
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備 (純額)	47,580	41,733
その他 (純額)	6,139	6,260
有形固定資産合計	53,720	47,994
無形固定資産		
ソフトウェア	455,411	467,661
ソフトウェア仮勘定	—	81,820
無形固定資産合計	455,411	549,481
投資その他の資産	134,408	135,972
固定資産合計	643,540	733,448
資産合計	5,026,527	5,331,496
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	24,837	41,789
未払法人税等	173,046	172,298
契約負債	497,398	520,833
賞与引当金	38,350	43,945
その他	91,365	105,698
流動負債合計	824,997	884,565
固定負債		
退職給付引当金	51,996	52,770
役員退職慰労引当金	22,235	23,885
資産除去債務	67,722	67,830
固定負債合計	141,953	144,485
負債合計	966,951	1,029,050
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	621,916	621,916
資本剰余金	621,916	621,916
利益剰余金	2,783,141	3,018,114
自己株式	△397	△397
株主資本合計	4,026,576	4,261,548
新株予約権	33,000	40,898
純資産合計	4,059,576	4,302,446
負債純資産合計	5,026,527	5,331,496

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	1,056,907	1,172,997
売上原価	256,358	327,509
売上総利益	800,549	845,488
販売費及び一般管理費	333,311	362,434
営業利益	467,238	483,054
営業外収益		
受取利息及び配当金	18	20
その他	106	38
営業外収益合計	124	58
経常利益	467,363	483,113
特別利益		
新株予約権戻入益	—	628
特別利益合計	—	628
税引前四半期純利益	467,363	483,742
法人税、住民税及び事業税	139,823	159,989
法人税等調整額	16,312	△1,066
法人税等合計	156,135	158,923
四半期純利益	311,228	324,818

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	467,363	483,742
減価償却費	104,578	131,737
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△19,122	5,595
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△6,838	773
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1,242	1,650
受取利息及び受取配当金	△18	△20
株式報酬費用	9,000	8,526
新株予約権戻入益	—	△628
売上債権の増減額 (△は増加)	5,126	△19,165
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,078	16,951
契約負債の増減額 (△は減少)	△4,289	23,434
未払金の増減額 (△は減少)	△35,813	425
その他	△11,693	21,166
小計	506,457	674,189
利息及び配当金の受取額	18	20
法人税等の支払額	△181,581	△160,544
営業活動によるキャッシュ・フロー	324,893	513,666
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△9,557	△1,600
無形固定資産の取得による支出	△153,194	△218,557
会員権の取得による支出	△9,736	—
敷金の差入による支出	—	△739
その他	160	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△172,328	△220,897
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△99	—
ストックオプションの行使による収入	1,260	—
配当金の支払額	△82,248	△89,776
財務活動によるキャッシュ・フロー	△81,087	△89,776
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	71,477	202,991
現金及び現金同等物の期首残高	3,766,976	4,069,391
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,838,453	4,272,383

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当社は、ワークフロー事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。